地震

津波

緊急工事

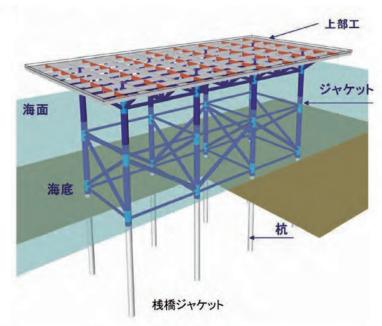
老朽化

ジャケット工法

ジャケット工法は、杭の上に脚の鞘管を羽織るという意味から銘名されたと言われています。この工法は、海底油田開発に用いる石油掘削プラットフォームを急速に施工する工法として、約90年前にアメリカで開発されました。これまでに世界中で6000基以上の建設実績があり、建設された水深は400mを越えるも、のもあります。国内では、比較的悪い海象条件でも短期間で設置できる特徴を活かして、桟橋・防波堤などの港湾・漁港の施設への適用が進んでいます。



石油掘削プラットフォーム





TEL: 03-6665-2000

適用事例

— 桟橋 -

(東京港大井ふ頭新5 コンテナ岸壁)

(博多港中央ふ頭旅客船パース)







(釧路港バルク桟橋)



(白島国家石油備蓄基地 シーバース)



(北九州港二島岸壁)



老朽RC上部工の一括撤去



既設杭の上にジャケット設置



プレキャストRC床版設置

— 橋脚 —

(室蘭市絵鞆漁港Mランド連絡橋)



<ご注意とお願い> 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている 情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負しかわますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、 担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標です。 社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

